

稲の生育を確認して遅れずに中干し開始！

6月に入り暖かい日が続いたため、生育は目標値に近づきました。5月15日植えほ場でも茎数の増加は進んでおり、6月20日までに中干し適期に達する見込みです。

北陸地方では6月10日に梅雨入りしたと見られます。昨年排水が悪く、収穫に苦労したほ場では、溝跡が残るようにしっかり溝切りを行いましょう。

1 6月10日現在のコシヒカリ生育状況（拠点12地点平均、移植日平均5月10日）

草丈：やや短、茎数：やや少、葉数：やや少、葉色：淡い
(田植え日による生育差大)

区 分	本 年 値	目 標 比・差 (カインダー-生育目標)
草 丈 (cm)	28	93% (30)
茎 数 (本/㎡)	215	93% (230)
葉 数 (葉)	6.6	-0.6 (7.2)
葉 色 (SPAD 値)	34.8	-2.2 (37.0)

2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 風やワキなどにより、茎数確保が遅れているほ場でも、1株茎数が目標に達したら中干しを開始する。
(目安：50株植え18本/株、60株植え14～15本/株)
- (2) 中干し効果を高めるため、溝切りを「必ず」実施する。
 - ・夏期の渇水に備えて少ない用水を活用できる。
 - ・収穫期の地耐力を確保するため、周囲と中央の溝切りは行う。
- (3) 畦畔のイネ科雑草に斑点米カメムシ類が確認されるため、定期的な草刈りでカメムシの密度を低下させる。